

## はじめに

岡山県は、県土の約7割が森林に覆われ、このうち約4割が主に戦後の大量伐採により荒廃した森林の復旧のため植栽されたスギ、ヒノキの人工林で、この森林資源は本格的な利用時期を迎えています。これらの多くは、県の三大河川である高梁川、旭川、吉井川の上流に位置し、水源の涵養（かんよう）、自然環境の保全、地球温暖化の防止、木材の供給等を通じて県南部の消費地にもその恩恵が付与されてきました。

また、これらの森林から伐り出されるヒノキの生産量は、平成24年から2年連続で日本一を誇るなど、住宅建築資材に適した材料の供給が可能となっています。

しかしながら、近年、住宅着工戸数の減少、外材の利用、建築様式の洋風化等に伴い県産材の価格は長期にわたり低迷し、製材品の生産量も減少傾向にあり、本県の森林・林業・木材産業の活性化のためには、一層の県産材の利用拡大を進める必要があります。

このような中、本県の木材需要の大部分を占める住宅等の建築物に県産材製品の利用を一層進めるため、設計・施工に携わられる工務店、建築士、大工等の皆様方が、住宅等の施主様に県産材の利用を御提案いただくときの一助になればと考え、「おかやま森づくり県民税」を活用した県の補助事業「おかやまの木づかい推進事業（県産材製品情報提供・普及啓発事業）」に取り組み、県産材製品カタログを作成しました。

このカタログにおいて県産材の利用、乾燥材・JAS製品の利用のすすめ、県産材製品の品目と生産する製材工場、扱う製品市場、販売店、プレカット工場に至るまでの県内企業を紹介させていただいております。なお、全ての製造品目、取扱企業は掲載できておりませんので、このカタログに掲載されていないものについては、お近くの販売店等にお問い合わせください。

最後になりましたが、「木づかい推進協議会」の構成員の皆様方、オブザーバーとして助言いただいた岡山県の方々、さらには情報収集に御協力いただいた各地区組合の皆様方の御尽力に対しまして、衷心より御礼申し上げます。

平成27年3月

一般社団法人 岡山県木材組合連合会  
会長 田中 信行